

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング  
 コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 齊藤 隆光

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,577	2.6	156	120.4	153	135.5	109	214.7
24年3月期第2四半期	3,487	△5.7	70	△39.9	65	△40.3	34	△28.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 109百万円 (217.1%) 24年3月期第2四半期 34百万円 (△29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.17	6.13
24年3月期第2四半期	2.05	2.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,902	1,246	41.4
24年3月期	2,848	1,017	34.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,201百万円 24年3月期 980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,463	2.1	355	24.0	341	26.2	211	△12.5	12.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行われたとして算定)。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	18,250,000 株	24年3月期	17,460,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,400 株	24年3月期	2,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	17,798,692 株	24年3月期2Q	16,998,966 株

(注)当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、業績予想の1株当たり当期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定した数値を表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 重要な後発事象	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり、依然緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題、新興国景気の減速感、国内では継続する円高など景気の下振れ要因もあり、依然不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、依然として厳しい雇用情勢や将来の消費税増税などを背景とした消費者の節約志向は根強く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中で、当社グループは「外食フランチャイズチェーンのリーディングカンパニー」を目指すという目標を掲げ、引続き「既存ブランドにおける品質とサービスの追及」「ブランド・ポートフォリオの多様化」「フランチャイズ運営ノウハウを活かしたフランチャイズ展開支援」「海外市場への進出」「自社ブランド商品の開発と、業務用食材等の外販事業」の各課題に取り組んでまいりました。

ブランドごとの当第2四半期連結累計期間の概況及び取り組みは以下のとおりであります。

子会社である株式会社プライム・リンクが展開する「牛角」では、第1四半期に昨年来の安心・安全の取り組みがメディアに取り上げられたのに続き、7月に実施した夏のキャンペーンとそれに合わせたテレビCMの放映が効果を上げ、既存店客数が昨年対比131.1%となりました。

「とりでん」では、加盟店オーナー向けに養鶏場の視察を実施、食の安全、食の大切さの再認識とともに、加盟店及びその店舗における商品理解を深化させ、さらなる顧客満足度につなげる取り組みを行いました。

「おだいどこ」では、初めて自治体と協力して特定の地域にスポットを当てた「青森まちおこしメニュー」を導入、青森の食を話題の「B-1グルメ」を交えて紹介する取り組みが好評を頂きました。

同じく子会社である株式会社とり鉄の「とり鉄」では、会津地鶏のさまざまな部位を使った新メニューの導入、「串半額フェア」を実施し新たな顧客層の開拓に努めました。

子会社である株式会社フードスタンドインターナショナルでは、7月1日からの2か月間、期間限定で湘南海岸に「たこばやし・海の家湘南」を開業、まだ知名度の低い関東圏でのブランド認知を獲得する取り組みを行いました。また、お好み焼きチェーンである「ぼてぢゅうグループ」との業務提携により、ぼてぢゅうグループ一部店舗にて、たこばやしブランドの商品販売も開始いたしました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」110.5%、「とりでん」94.2%、「おだいどこ」95.4%、「とり鉄」97.8%となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,577百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は156百万円（前年同四半期比120.4%増）、経常利益は153百万円（前年同四半期比135.5%増）、四半期純利益は109百万円（前年同四半期比214.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいて、「川口キッチンバー」1店舗を閉店した結果、当第2四半期における当社グループの直営店舗数は39店舗となり、店舗運営の売上高は1,401百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

#### ②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは「おだいどこ」1店舗をオープンするかたわら、「牛角」1店舗を閉店いたしました。また、株式会社フードスタンドインターナショナルでは「たこばやし」1店舗を閉店しました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループのフランチャイズ店舗数は307店舗となりました。

これに一部ブランドフランチャイズ店舗向け食材の売上高を加えた結果、フランチャイズの売上高は1,864百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

#### ③その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、その他の売上高は310百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,902百万円となり、前連結会計年度末に比較し54百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は1,656百万円となり、前連結会計年度末と比べ174百万円減少いたしました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

純資産については、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ228百万円増加し、1,246百万円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記情報）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	510,800	680,352
売掛金	616,922	598,881
商品	27,363	47,677
貯蔵品	6,873	6,745
その他	230,882	228,518
貸倒引当金	△28,361	△22,902
流動資産合計	1,364,481	1,539,273
固定資産		
有形固定資産	334,507	292,874
無形固定資産		
のれん	306,349	276,789
その他	57,120	47,184
無形固定資産合計	363,470	323,973
投資その他の資産		
敷金及び保証金	684,246	655,809
その他	145,563	122,930
貸倒引当金	△44,034	△32,061
投資その他の資産合計	785,775	746,678
固定資産合計	1,483,754	1,363,525
資産合計	2,848,235	2,902,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,799	369,853
短期借入金	153,950	169,910
未払法人税等	26,598	26,814
店舗閉鎖損失引当金	—	18,550
その他	595,339	451,893
流動負債合計	1,169,687	1,037,022
固定負債		
受入保証金	460,996	443,691
資産除去債務	81,204	79,871
その他	118,447	95,545
固定負債合計	660,648	619,108
負債合計	1,830,335	1,656,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	644,821	700,888
資本剰余金	603,118	659,185
利益剰余金	△266,148	△156,294
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	980,362	1,202,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△333	△434
その他の包括利益累計額合計	△333	△434
新株予約権	37,871	44,751
純資産合計	1,017,900	1,246,668
負債純資産合計	2,848,235	2,902,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,487,584	3,577,387
売上原価	1,904,751	1,916,331
売上総利益	1,582,832	1,661,056
販売費及び一般管理費	1,511,967	1,504,837
営業利益	70,864	156,218
営業外収益		
受取利息	504	640
受取補償金	—	19,095
その他	6,424	8,360
営業外収益合計	6,928	28,096
営業外費用		
支払利息	7,968	5,613
支払手数料	—	5,577
支払補償費	—	15,524
その他	4,471	3,660
営業外費用合計	12,440	30,376
経常利益	65,353	153,938
特別利益		
受取契約違約金	7,940	—
特別利益合計	7,940	—
特別損失		
減損損失	7,487	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18,107	18,550
賃貸借契約解約損	—	4,751
特別損失合計	25,594	23,301
税金等調整前四半期純利益	47,698	130,637
法人税、住民税及び事業税	9,635	22,269
法人税等調整額	3,153	△1,487
法人税等合計	12,788	20,782
少数株主損益調整前四半期純利益	34,909	109,854
少数株主利益	—	—
四半期純利益	34,909	109,854

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34,909	109,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△294	△100
その他の包括利益合計	△294	△100
四半期包括利益	34,615	109,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,615	109,753
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

1. 株式分割及び単元株制度の採用

平成24年6月1日開催の取締役会決議により、平成24年10月1日を効力発生日として、1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

(1) 株式分割及び単元株制度の採用の目的

単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目的として全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」及び「売買単位の100株と1000株への移行期限の決定について」の趣旨に鑑み、当社株式分割の実施及び単元株制度を採用いたします。なお、本株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

(2) 株式分割の方法

平成24年9月30日(ただし、同日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は平成24年9月28日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が有する普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

(3) 株式分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式数	182,500株
② 今回の分割により増加する株式数	18,067,500株
③ 株式分割後の発行済株式数	18,250,000株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	49,500,000株

(4) 単元株制度の採用

普通株式の単元株式数を100株といたしました。

(5) 株式分割及び単元株制度の効力発生日

平成24年10月1日

なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。